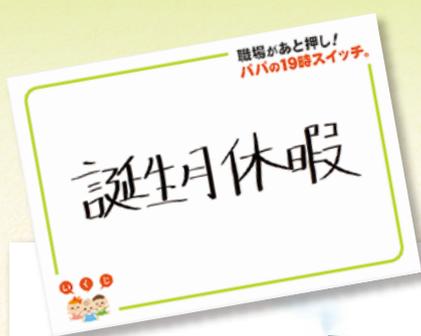


職場があと押し！ パパの19時スイッチ。



子育てしやすいように職場環境を整えることで、福利厚生
の拡充はもちろん、従業員のやる気創出や業務の効率
アップが期待できます。こうした取り組みの積み重ねが少
子化克服への一歩につながります。

子どもは社会の宝。県内企業による仕事と子育てを両立
しやすい環境づくりの取り組みとその成果をご紹介します。



株式会社アイネックス(秋田市)

業種/卸売・小売業 従業員数/75名
<http://www.inecx.co.jp>

株式会社アイネックスは、オフィス機器・設備・IT機器の販
売・システム開発・メンテナンス、教育支援まで、総合的なオ
フィス環境を提案する企業です。昭和23年、前身となる会社
を立ち上げた創業者の意向で、“晩ごはんは家族一緒に！”と
家族との時間を過ごせるよう促す伝統は、今も大切に伝えら
れています。

一方、多角的な事業拡大とともに遅くまで仕事を続けたり、
有給休暇の取得をためらったりする従業員が増えるなど、家庭
より仕事を優先する傾向が社内に広がった時期もありました。

職場でのコミュニケーション不足もあつたため、まずは従
業員同士の交流の機会を作ろうと、同社では6年ほど前から全
従業員を対象にした誕生日の昼食会を開催。社長を中心に家
庭の話を変えて気軽にコミュニケーションできる雰囲気づく
りが始まりました。

誕生日休暇制度と業務共有化の相乗効果

平成27年には、部署や役職の垣根を超え職場や会社の未来を拓く「アイネ
クスト委員会」を設置。この委員会からの提言を受け導入されたのが「誕生日
休暇」制度です。誕生日には1日有給休暇を取る。この制度を無理なくすす
めるには、後押しする業務体制づくりも欠かせません。そのため各部署で3~5
人のチームを編成し、それぞれの業務の進捗状況・情報を共有するフォロー
アップ体制を構築しました。その成果は、休暇取得率アップだけでなく、従
業員のやる気や業務効率の向上、職場のコミュニケーションの活性化など、さ
まざまな相乗効果を生みました。



従業員から



総務部部长 加賀谷さん

チームのフォローアップで家族の時間を満喫

妻も働いているので平日は忙しい毎日。保育園に通う4歳の長男と過ごす時間も十分ではなかったですね。誕生月休暇には妻も有給を取り、近所の公園に出かけ、親子でピクニックを楽しみました。チームで仕事と情報を共有し、フォローし合う体制ができたので業務はさらに効率化。職場の風通しもよくなり、有給休暇を申請しやすい雰囲気になったと思います。



業務部 高山さん

共家事・共育児に活用！仕事のモチベーションもアップ！

夫婦共働きで、1歳の長男はまだ手のかかる時期。24時間態勢の共家事・共育児の真っ最中です。そこで、誕生月休暇は私が一日育児を担当し、保育園の送り迎えや家事など、ごく普通に子どもとの時間を満喫しました。職場の後押しでそんな休暇が気兼ねなく取れたことが嬉しいです。おかげで、“この子や家族の将来のために”という仕事のモチベーションも上がりました。

職場から



第一事業部リーダー
アイネクスト委員会 大野さん

休暇取得率はほぼ100%！顧客企業への提案にも生かしたい

チーム制による業務の分担や情報の共有化を進めた結果、気兼ねなく休暇申請できる職場体制をつくることができました。昨年末からスタートした誕生月休暇は従業員にも好評で取得率はほぼ100%。私も保育園に通う2人の子どもの保護者参観日に誕生月休暇を取り、家では見られない子どもの様子を見ることができました。

子育て・家庭生活を充実させる仕事の仕組みは、職場のコミュニケーションやチームワークの向上、業務の効率化など、さまざまな相乗効果をもたらしました。これからも新たな可能性に取り組んでいきたいですね。

当社が目指す「明日の戦略を作るオフィスづくり」は、ハードやネットワークの構築に加え、そこで働く人たちが快適で、前向きに仕事に向き合える環境づくりです。仕事と子育ての両立がその重要な要素となっている今、自社で得られた成果も顧客企業への提案に生かしたいと考えています。

効果アリ！

コミュニケーション・チームワーク向上による仕事の効率化
家庭も仕事も前向きに！従業員のやる気アップ！